興 寺 面観世音菩薩

* 宗 派 天台宗

天台宗第四祖慈覚大師円仁

文徳天皇(在位八五〇—八五八)代 仁寿三年(八五三)二月

*現住職 第二十六世 金子慈淵

*〒二三三一〇〇六三 横浜市港北区高田町一七九九

*☎○四五一五九一-一三四〇

*横浜市営グリーンライン「高田」駅下車

地蔵(愛宕権現)を刻み、 *東急東橫線 圓瀧山光明院の号あり、 「綱島」駅より「新城駅前」行東急バス「天満宮」下車 御本尊十一面観世音菩薩像は慈覚大師の御作と云う。また、 お山の鎮守として祀られたと云われる。 当山は戦国の時代より数の御作と云う。また、勝軍 徒歩五分

現在の観を呈するに至る。昭和六十二年に、関東では少ない多宝塔形式の薬師堂が建立され と云われる。慶安二年(一六四九)高七石余の寺領を賜る。その後代々の住職が修復をして 建と云われ、 回の火災に見舞われ、最後の火災は七百年前と云う。本堂は元応二年(一三二〇)八月の再 時に領主桃井播磨守直常公が無二の大願を起こし、 愛宕社も共に造立し奉った

横浜七福神の「福禄寿尊」

が祀られている。

詠 歌

まどかなる

ŋ 0 くも

はたてよ

くきにそまる

たきの いとすじ



(第27番 興禅寺)